

登録コード:MH178100 開講年度:2026		授業科目区分	専攻専門科目 必修
科目名	コミュニケーション方法論Ⅱ(応用)【22M以降】 CommunicationⅡ(Advance)		
担当教員	小林 千世 浅野 美礼・山口 大輔・上原 文恵		
対象専攻/学年、講義期間、曜日・時限	看護学専攻/1年 後期(前半) 木曜・4時限		
単位数、講義室	1単位	保健学科311講義室	遠隔授業科目
信大コンピテンシー	該当		
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素	⇔	授業の達成目標
	MH25カリ・保健・看護, MH23カリ・保健・看護		
	≪基礎的・専門的な知識と技能≫看護専門職者に必要な幅広い教養と基礎的・専門的な知識・技能を修得し、さまざまな状況で活用できる。	⇔	効果的に意思疎通を図り相手と良好な関係を築くためのコミュニケーションの基本を理解できる。
	≪科学的探求力≫変化し続ける社会で派生する多様な課題に対して、地域・国際的な視点から、科学的・倫理的・道徳的・創造的に課題に対応していく探究心と、課題克服や目標達成に向けて生涯をかけて取り組む力が身についている。	⇔	患者の健康課題に対応できるコミュニケーションスキルを理解できる。
授業で学べる「テーマ」	その他		
全学横断特別教育プログラム			
授業概要	看護職のコミュニケーション特徴とその重要性、看護を実施する上で必要なコミュニケーションスキルを講義やロールプレイを通して学ぶ。 本授業は、1年次前期に学んだ「看護学概論ⅠⅡ」「コミュニケーション方法論Ⅰ」「基礎看護学実習Ⅰ」の知識を前提とし、2年次後期の「看護方法論Ⅰ」と相補的に学んでいくことになります。そして、本授業の内容は、1年次後期後半の「基礎看護学実習Ⅱ」2年次の「看護方法論Ⅱ・Ⅲ」「基礎看護学実習Ⅲ」における重要な基礎知識となります。 本授業は、担当教員の医療施設や看護の教育現場における教育者および看護師としての実務経験を活かして講義を行います。 本授業は男女共同参画に関する内容を含んでいます。		
授業計画	第1回(10月1日) ガイダンス 第2回(10月8日) 看護職のコミュニケーション 第3回(10月15日) 傾聴・共感・受容の技術 第4回(10月22日) 看護職のコミュニケーションの特徴と重要性 第5回(10月29日) 質問の技術 第6回(11月5日) 説明の技術 第7回(11月12日) まとめ 第8回(11月19日) 筆記試験・授業アンケート		
授業の進め方	・本授業は、パワーポイントスライド、教科書、資料に基づいて進めます。 ・講義資料はe-ALPSに提示します。 ・実際に医療現場を想定したコミュニケーションのグループワークやロールプレイに参加し、体験学習します。		
テキスト、教材、参考書	教科書 ・基礎看護技術Ⅰ 医学書院 参考書 ・対人関係の現場で使える聴く・伝える・共感する技術便利帳 翔泳社 ・対人関係の現場で使える質問する技術便利帳 翔泳社 ・対人関係の現場で使える承認する・勇気づける技術便利帳 翔泳社		
成績評価の方法	筆記試験、リアクションペーパーを総合的に判断して、看護職のコミュニケーションの特徴や基本的な知識とコミュニケーションスキル、医療職・看護師としてのコミュニケーションの方法についての理解度を評価します。 評価の配分は筆記試験90%、リアクションペーパー10%の評価を合計して、100点満点で得点を算出します。		
成績評価の基準	リアクションペーパーの内容には、下記①～④の要素を必要とします。 ①演習課題の取り組み内容や振り返りを記録する。②講義の内容を自分なりに考察した内容である。③自分の考えを説明できている。④既存の内容に依存していない。 ①～④を満たし、筆記試験の結果が90%以上である場合は「秀」。		

成績評価の基準	①～④を満たし、筆記試験の結果が80%以上である場合は「優」。 ①～④にやや課題が残り、筆記試験の結果が70%以上である場合は「良」。 ①～④に課題が残り、筆記試験の結果が60%以上である場合は「可」。 総合して、秀：100～90点、優：89～80点、良：79～70点、可：69～60点と評価する。
事前事後学習の内容	本授業の単位取得には45時間の学習が必要であるため、以下の学習時間を必要とします。 授業時間15時間（2時間×7.5回）+自己学習時間30時間（4時間×7.5回）=45時間 ・事前学習 講義の前日までに連絡します。 e-ALPSに提示する事前課題に取り組み、取り組んだ課題を持参して授業に参加する。 ・事後学習 講義時に提示します。 講義の内容を復習し、講義の目標に対する到達度を各自評価し、自己の課題を明確にする。
学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	・体験学習を通して、コミュニケーションに関する学びがより具体的で質の良い学習になります。主体的にグループワーク、ロールプレイに参加しましょう。 ・オフィスアワー：随時対応します。メールなどで事前に連絡してください。 小林千世メールアドレス：ckobaya@shinshu-u.ac.jp 小林千世研究室：保健学科中校舎4階 ・上原文恵助教・浅野美礼教授・山口大輔助教も対応します。